

近 税 な に わ

発行所 近畿税理士会浪速支部

〒556 大阪市浪速区難波中3-15-11

発行人 支部長 太 田 武 男

TEL (06) 649-2225



Adiós Osaka Estadio // 烏野利勝先生 提供

目 次

再任1年を省みて

.....太田 武男(2)

転入幹部のご紹介.....(2)

随筆

ふる里を思う.....梶田 久夫(3)

回想記.....小林 喜継(4)

ファー・ゴルフ.....岩橋 一好(5)

川柳散歩.....菱木 淳一(6)

税務署だより.....(7)

委員会だより.....(8)

支部行事予定.....(12)

新入会員ご紹介.....(13)

編集後記.....(14)

題字・片岡芳石氏(鈴蘭会主宰)



再任 1 年を省みて

支 部 長 太 田 武 男

暑中お見舞申し上げます。本誌第 2 号で「再任のごあいさつ」を申しあげてから早くも 1 年を経過しました。平成 4 年度も 4 か月を経過し、支部活動も漸く順調な歩みを始めました。

省みますれば、過ぎし 1 年は支部役員一同にとりましては、苦難の長い 1 年でもありました。業界或いは支部をとりまく環境の変化に対応しつつ、支部の事業活動と中期的展望に立って運営の安定を図るとき、欠かせないのがその基盤となる支部財務の検討でした。

会員諸先生方には、今回、支部会費増額改定の大変な支部規約改定をお願いいたしましたが、支部運営の立場に立った深いご理解を賜りまして、衷心より敬意を表する次第です。又平素から支部の諸事業活動には、ご支援とご協力を賜っており感謝申し上げる次第です。

本年度も 4 か月を経過したとは申しまして支部の事業活動もお盆明けと共に厚生・事業・「税を知る週間行事」等々、例年どおり多彩となって参ります。又特に本年は「税理士制度 50 周年記念」の記念行事が既に始動しており、ステージカーの全国縦断キャラバン、および記念式典を柱に、「税」と「税理士制度」の啓蒙を目的とした広報活動の機会と位置づけられています。職域基盤の更なる確立を期待すると共に、税の専門家としての研鑽に一層精進が期待されているところです。

最後になりましたが、支部運営につき、お気付きの点をご教示賜り、一層のご支援をお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝と、ご活躍を祈念いたします。

— 転入幹部のご紹介 —



副 署 長

南 和 夫

前任署等：国税局課税第 1 部
国税訟務官室訟務官



個人課税第 2 部門
統括国税調査官

高 倉 正

前任署等：富田林税務署個人
課税第 3 部門統括官



総 務 課 長

藤 岡 直 吉

前任署等：東税務署法人課税
第 1 部門統括官



法人課税第 3 部門
統括国税調査官

松 岡 省 治

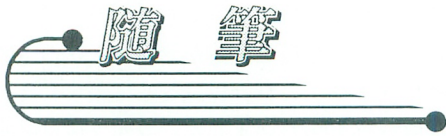
前任署等：国税局総務部総務
課納税団体係係長



個人課税第 1 部門
統括国税調査官

森 藤 祥 秀

前任署等：国税局課税第 1 部
所得税課主査



ふる里を思う

梶 田 久 夫

古来和歌山が生んだ植物学者南方熊楠について、近くテレビドラマにしてその博学を知って貰おうと、撮影に入ったとの話を聞き、ふと私のふるさを紹介しようと思う。

私の故郷海南市の藤白は紀州の熊野三山に通ずるいにしえの道で、その昔上皇も武士も「蟻の熊野詣」といわれるまでにかよったところである。京を出て往復170余里（約680キロ）約1ヶ月を要したという熊野詣の紀州路のうちでも、藤白坂は最も熊野古道の面影を残していると言われ、現在の海南市の南はずれにある藤白神社から藤白峠までの熊野路が一番美しい道路といわれるところだ。

藤白神社は阪和自動車高速道路から海南湯浅道路トンネル入口にあたり、その昔熊野九十九王子の中で格式高い五躰王子の一つ、藤白王子の社跡であり、熊野詣の上皇、法皇は必ずここで宿をとられ、神楽を奉納し歌会を催されたと伝えられる由緒あるところである。

境内の神木、大楠は旧内海町の氏神のシンボルで町の人々は、名前の中に楠を入れ〇〇楠といわれる人が多く、あたかも南方熊楠の名前も熊野神社の熊と藤白神社の楠にあやかっように聞いている。

その大楠を仰ぎながら神社を右手に行くと19歳で散った悲運の皇子、有馬皇子の墓と歌碑が建っている。

「家にあれば 筥にもる飯も

草枕 旅にしあれば 椎の葉に盛る」

と記され哀れみをよぶ。間もなく地道の石道が現れ藤白峠まで2キロは、いわゆる「藤白坂」の急な登り道で、この峠をも越えられず落伍した宮人があったと伝えられている。

熊野詣は徒歩が原則で、後年駕籠もあり輿に

頼る女院もあったとか。ところどころで石地藏がひっそりと見守ってくれ、風化してお顔の輪郭すら定かでないものや、歌を刻んだ新しいもの、遙か遠い昔の熊野詣の行列を想いおこす。

「蟻の熊野詣」といわれるように、上皇方の熊野御幸が後白河院の33回を筆頭に、合計百度にも及んだという驚くべき事柄、元永元年(1128)白河院の御幸には総員814人が参加したと史料にあり、この道を行き交う人でごったがえっていたのではないだろうか。峠近くに「筆捨松」の立札のあるところがある。平安中期、当時屈指の画家、巨勢金岡がこのあたりから目の前に広がる景色を画こうとして、思うに任せず筆を投げ捨てたという故事がある。しかし今では海は埋立てられ、白いビルの市街地や煙突、石油タンクのある工場地帯ともなっているが、私の少年時代ではまだ風光明媚なところで、今思うと残念でたまらない。

藤白峠には地藏寺がある。寺に極楽地獄の絵馬堂があり子供心に怖い思い出がある。又寺池には「願」をかなえて、はなされた鯉が沢山おり、峠にどうしてもって来たのか子供心に不思議に思った。手をたたくと沢山の鯉が渦をまき、餌を求めて集まってきた。

戦時中は食料難のため買出しに、妻は長男淳を背負いこの峠を越えて衣類をかかえ百姓さんに米、芋と交換に通ったところでもある。山上の南側は日当たりもよくみかん畑が眼下に広がった下り道で、遠い昔はどうであったのだろうか思いはせられる。

藤白神社の隣に日本で一番多い姓といわれる「鈴木」の総本家があり、近年全国から鈴木さんが集まったと聞いている。鈴木家はあの有名な源義経の家来に鈴木三郎があり、近くの日限山に義経の墓があってその両脇に鈴木三郎と亀井六郎の墓もあり主従の関係がわかる。

牛若丸（源義経の幼名）が熊野への行来には、鈴木家に泊まって近くの山で三郎、六郎と遊んだといわれ、又大変珍しい曲水泉が庭にあり旧家を思わせる。

「南方熊楠」と藤白神社の関わりで、我が故郷の思い出について筆を取った次第です。

最後に故郷内海の手まりかぞえうたを書こう。一つ、日限の地藏さま、聖徳太子ののみのあと二つ、藤白権現は、九十九王子のそのひとつ

三つ、三郎鈴木うじ、牛若丸のごけらいで
四つ、冷水^{しみず}の了賢寺、喜六大夫のものがたり
五つ、井引の森のあと、天つみおやの宮どころ
六つ、むざんなご最後を、

おとげなされし有馬皇子

七つ、なぎさにかもめとぶ、その名も高き名高浦
八つ、山名の義理は、東の城のおとのさま
九つ、子供の神さまは、日本にひとつの楠神社
十で峠にほど近く、筆捨松の遺跡あり



回 想 記

小 林 喜 継

昭和41年に浪速部会に入会させて頂きました。先生方とは長い間、交誼を願いつつしか過去を回想する年齢となりました。

入会当時の先生方は38名程でしたが、皆個性のある方々で、赤川部会長、篠田、渋谷の酒豪又は遊芸に優れた人ぞろいで、部会行事、特に旅行等は和気藹々で実に賑やかでした。(敬称略)その当時は原、梶田、山本光雄、小林等のメンバーで麻雀に熱中していました。土曜日は勿論、平日も時間を打ち合わせては、頑張りましたが山本光雄がやはり強い様でした。

50年代に入って、ゴルフをやろうと、はなしがいつしかまとまって、辻本昭一、井沢をコーチに招いて始めた。第一位を目指して、毎月1日にゴルフをする事にした。浪一会と名称をつけました。

その頃、原は無経験者でした。ところが早速白鳳 C.C. のメンバーになり、殆ど毎日ラウンドに行き、練習熱心と自衛隊仕込の体力で、あれよ、あれよと言う間にダントツになりました。私が苦勞して、56年に新大阪 C.C. で、やっと29のハンデが取れたときは、原は10台になっていました。今では名実ともに第一位となり、浪速のドンとなりました。

50年代は支部役員が全員ゴルフ麻雀を大いにやりました。支部準ゴルフ部という暗黙の了解のもとで、むつかしい規則も無しで、入会者も

増え楽しいゴルフ時代が到来しました。

したがって、会長など置かず世話人が自主的に自然に決まり、これの世話をして来ました。自由な解放感を味わいました。ゴルフ後は必ず麻雀をする習慣は、当初これをセットして発足したからでしょう。

ゴルフ熱向上に伴い、支部旅行にゴルフをセットしたのは、55年の三朝温泉 C.C. からでした。そうしてこの時の春田の優勝から数えて13回、最多優勝は中野榮丸と共にやはり原だと思えます。

ちなみに、

回数	年月日	場 所	チャンピオン
①	55.7.5	三朝 C.C.	春田佳男
②	(56.7.8)	(明治村)	—
③	57.7.3	片山津 C.C.	原 仁一
④	58.7.2	富士 C.C.・可児	中野榮丸
⑤	59.7.7	久美浜 C.C.	高橋一夫
⑥	60.7.6	加賀芙蓉 C.C.	原 仁一
⑦	61.7.5	三朝 C.C.	小林剛三
⑧	62.7.3	能登 C.C.	鳥野利勝
⑨	63.7.2	大山 C.C.	原 仁一
⑩	元.7.7	浜名湖 C.C.	中野榮丸
⑪	2.7.6	土佐 C.C.	中野榮丸
⑫	3.7.4	川奈ホテル・大島	伊藤誠康
⑬	4.7.4	飛驒ハイランド C.C.	伊藤誠康

私もここ数年神経痛に悩みましたが、やっと今回、飛驒旅行に参加させてもらい、その盛大さに、頼もしさを感じました。

当支部には和やかな雰囲気があります。これは第一に浪速署経験者が多いのではないかと思います。例えば30年浪速署消失直後の直税課4名の係長、榮田、片岡、佐野、小林の全部が当支部におさまっています。このように浪速署経験者が多い。他の方々も浪速区の土地勘があるようです。

これらが仲間意識を持つようになるのではないか。その上浪速の先生方は、ゴルフ、麻雀もお好きな方が多く、以上の相乗効果によって現在のムードになっているのだと思われます。

私が入会した40年頃の先生方の多くが二世の時代に入りました。山崎、梶田、渋谷、篠田、赤川、木下、辻本(宏)等々、私も早急に後継ぎを決めたいと考えているところですが、今後

とも御交誼をお願いしたいと存じます。

終りに紙面の穴埋めの為、愚作数首披露まで。

一炊の夢にあらざれ 浪一の
榮えねがひて酒くみかはす

なりはひも しばし忘れむ若やぎて
飛驒吹く風にボールとばしぬ

二十位なる偶然も良き 恙なく
旅のおはれる家苞にせむ

大方を過去となしつっなほ明日の
仕事おもほう幸かみしむる



ファー・ゴルフ — 熱き心と想い出 —

岩 橋 一 好

バブル経済が弾けてからは、株価の暴落、地価の下落、設備投資の減退等々世の中景気後退の話で持ち切りである。顧問先にお伺いしても「あきまへんなあ」「この先どないなるんでっしゃろか?」「何かええ話はないですか?」といったセリフがポンポン飛び出してくる。こちらとしても「何とか頑張って地道にコツコツとやっていきましょう」と言うぐらいで、気の利いたセリフがなかなか出てこない。

ところがゴルフの話になると俄然熱を帯びてきて、「いっぺん行きましょか」とお誘いを受けたら「喜んでお供します」ということになる。それからスイングの話、道具の話、次から次へと話が尽きない。

世の中不景気になったと言っても、ゴルフ場は大抵が満杯である。ゴルフブームはまだまだ衰えを見せないようだ。

私もゴルフに行きたいといつも思っているのであるが、実際にはなかなか行けない。ついにお誘いを受けてという形になるが、この場合は必然的に仕事の延長のようになり、気を遣うことも多いが、ゴルフに行けるだけでも満足しなければと思うし、事実満足している。

表題の「ファー・ゴルフ」であるが、ゴルフコースにおいて隣のホール等へボールを打ち込んでしまった場合、落下地点の人に危険を知らせるため、「ファー!」と大声を張り上げる。正しくは「フォア! (Fore)」であるが、私にとっては、ファー (Far: 遠くの、遥かな) ゴルフなのである。

私は、学生時代関西学院大学のゴルフ部に所属していた。当時は、今程ゴルフが普及してなくて贅沢な遊びだと言われていたが、私達は運動部員として純粋にスポーツとしてのゴルフに取り組んでいたつもりである。

その頃の思い出というと、苦しかった下積みの時代、即ち1回生当時のことばかりが思い浮かんでくる。

〔入 部〕

たいした動機はなかった。ゴルフに関しては全くの無知で、3番ウッドをスプーンということや、パーディ・パー・ボギーという言葉の意味も知らなかった。

ただ体育会(運動部)に入りたい。しかし他のクラブでは中学、高校からの経験者でなければやりにくい。ゴルフ部なら初心者でも何とかなるだろうといった感じで入部してしまった。

入部当初は大声で挨拶すること、これに尽きた。いつでもどこでも先輩に出会ったら「コンチハー!」「チワース!」と大声を張り上げる。回りの目が気になった。何しろ私は中学、高校と物静かな美術部員(?)であったから。

〔練 習〕

朝5時起きして学校へ行き、とにかく走れ走れと筋力トレーニング。私は持久力がなかったのでランニングはいつもビリだった。

打球練習は、大部分を本人の自主性に任せ、練習しない者は勝手に落ちろ、という方針のようで、選手選考も強い者から順に選抜するという完全な実力主義であった。

〔合 宿〕

夏休みには1週間の全体合宿があった。4時半頃起床し、8時には最初のハーフを終え、一般のお客さんがスタートする前に次のハーフに入らねばならなかった。真夏の炎天下をキャディバッグをかついで2~2.5ラウンド、それこそ走り回るのである。絶えず先輩のボールの行方を追い、先輩の後ろを歩くことは許されなかつ

た。

又、1人のマナーが悪いと連帯責任ということで我々全員がラウンド終了後しごかれた。

夜は約2時間ミーティング。ずっと正座である。先輩は座蒲団にあぐら、我々は床に正座。「何でやねん」と恨めしく思ったが、強くなる為には色々しごかれることも必要かなと進級してから思った。

最近の風潮では、あまり厳しくできないようである。前時代的な精神論よりも、合理的科学的トレーニングがもてはやされているようだ。しかし、私の人生にとっては有意義な体験であったと思われる。

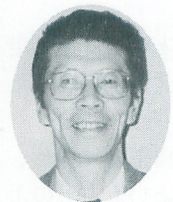
〔試 合〕

私が現役の頃は、日大が黄金期を迎えていた。藤木三郎、倉本昌弘、牧野裕、湯原信光といった現在のトッププロが各学年にいた。我々にとっては雲の上の人であった。その強さといったら筆舌に尽くしがたい。どんなに頑張っても勝てなかった。(注、私は見ただけである)

その時のおもしろいこぼれ話もたくさんあるが、紙面の余白がなくなってしまった。残念。

最後に一言。かの中部銀次郎氏の言葉、「最近ゴルフをする人は多くなったが、ゴルファーは少なくなった。」蓋し名言。

お誘いをお待ちしております。



川 柳 散 歩

— 浪速区界限 —

菱 木 淳 一

浪速区に事務所を開業して15年、ようやく愛着も沸いてきたが、それまでは私にとって馴染みの少ない地区であった。昭和40年頃であろうか、体育館の裏の狭い寂しい道を、のら犬に睨まれながら社会保険事務所へ行った記憶が残っているだけであった。今は体育館もその偉容を誇り、浪速郵便局も最新のビルになり、パチンコ店のネオン輝く道に変貌したが……。

浪速(ナニワ)というのは大阪の古い呼び方で、難波、那爾波とも書かれ、「日本書紀」の

地名由来の説話には、神武天皇の軍が難波の碕(みさき)に着こうとする時、速い潮の流れがあつて大変早く着いたとある。そして最後に「因りて名付けて浪速国とす。また浪速という。今、難波と謂うは訛れるなり。」とある。ただし、上町台地北部付近を指した地名と考えられるが、この古い地名のルーツを持つ浪速区を川柳と共に散策してみよう。

まず何と言っても「えべっさん」であろう。

* 福笹を抱いてナンバで酔いつぶれ 幻四郎

* 宵戎飲めるだろうとついてゆく 年代

創建は600年(推古天皇8年)と伝え、四天王寺の西方守護神の役割を担ってつくられたと言うが、当社からの宮中への鮮魚の献上、浜の市の開催などを通して、庶民との結びつきを深め、恵比須信仰へと発展した。戎神への信仰は「漁民の守護神」を越えた「招福の神」「商業の神」となり、十日戎の祭として親しまれるようになった。

今宮戎神社から南東の方向に目を移すと、新世界の真ん中に通天閣が見えてくる。1912年(明治45年)に「天に通じる塔」として作られたもので、わが国最初のエレベーターが設置されたと聞く。しかし、太平洋戦争の最中に解体され、現在のものは1965年に再建されたもの。高さ103メートル。この塔の下には、将棋界の鬼才、坂田三吉の王将碑が立っている。

* 通天閣がまっすぐ見えてめしの店 美芳

* 新世界香車が一つ落ちていた 欣一

* めしの字に芙美子生きてる新世界 墮駄

聞くところによれば、霞町の市電車庫跡地が新しい文化の町ミュージカルシアターとして生まれ変わる計画がある。(平成8年完成予定)町の活性化に役立つことを期待しよう。

浪速区の東側に隣接する天王寺区に私の好きな風景があるので、ちょっと触れさせて頂こう。夕陽丘界限の坂のある風景に心が和む。

まず源聖寺坂、狭く曲がった石畳が続く。今にも若侍が現れそうなたたずまいである。

* 織田作の世界ふところ手が似合う 英比古

* 源聖寺うしろ姿はもう見えず 慶子

次に口縄坂。十三まいりで知られる太平寺から称名寺に至る樹木の茂る静かな道である。昭和55年、ここに織田作之助の文学碑が建てられた。「口縄坂は寒々と木々が枯れて、白い風が

走っていた」と刻まれている。

川柳も文芸であるが、俳句や短歌に比べて、なじみが薄いようだ。うがち、諷刺、軽味中心の客観句から、最近是自己を直視する主観句も盛んである。季語や切れ字などの制約もなく、十七音で人間の喜怒哀楽を詠めばよい。

* 触れ太鼓浪速に春を誘い込む 淳一

これは私の駄作だが、時事吟も川柳の分野である。栃若以来の相撲ブームであるが、現在、力士はみな東京の相撲協会に属している。大正時代までは、江戸相撲、大阪相撲、京都相撲と分かれていた。中でも大阪相撲が一番古く、力士への肩入れもひと通りではなかった。今なお、ひいき筋のことをタニマチ（谷町）と呼んでい

る。あの大きな体育館も大阪場所の時には、割れんばかりにふくれ上がるのである。

* 関取が歩き大阪春が来る 清人

* 千秋楽大阪弁の表彰状 俊春

この体育館の西側に八坂神社があるのを知った。神殿の屋根が奇怪な大獅子の顔を形取っている。仰ぎ見ると異様な雰囲気漂う。こんな所にこんな神様が居ったのか、へえーとしばし、あっ気にとられたのであった。すさのおの尊が祭神で、厄除、魔除けの神様とのこと。鳥居脇の白梅が清楚に見えた。

* 賽銭を睨む八坂の守り神 淳一

かけ足で回りましたが、この辺でお別れしましょう。ご静読ありがとうございました。

税務署だより

— 租税教育懇談会を開催 —

浪速区内の小学校、中学校、高等学校の先生方にお集りいただき、税務署の幹部等と懇談会を開催しました。

懇談会では、学校において行われる租税教育の担当者である先生方に、税務署から各種の資料や情報を提供、説明した後、フリートーク方式で、租税教育の現場における意見、税務署に対する要望など情報交換しました。

先生方からは、「生徒にとって、資料の数字が大きく、より身近な材料を使い具体的な理解しやすい数字を使用すべきである」など貴重な意見を数多くいただきました。

税務署では、小学生向けに税の役割を説明するアニメビ

デオを提供したり、中学生、高校生向けに税の仕組みをわかりやすく解説したビデオテープを貸し出したりしています。税理士先生方におきましても租税教育にお気づきの点がございましたら税務署の総務課までご意見をお寄せください。



委員会だより

支部行事報告（平成 3 年 12 月～平成 4 年 7 月）

◎総務委員会

○第12回定期総会（H4.5.19）

会員総数 120人
出席者数 91人（含 委任状 44人）
場 所 東 天 閣
議 長 小林剛三先生
議 事 録 大野康夫先生・河合 薫先生
署 名 人

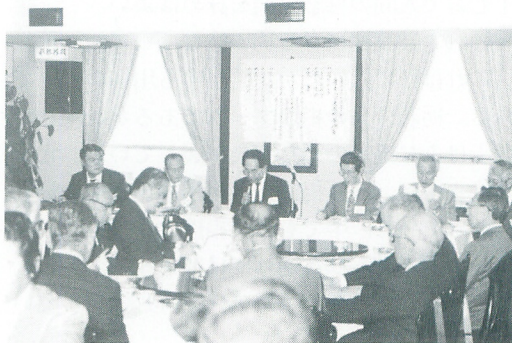
第 1 号議案 平成 3 年度事業報告・同決算書承認の件

執行部報告・監査報告ののち全員承認。

第 2 号議案 支部規約第28条（支部会費）改正の件

第 3 号議案 平成 4 年度事業計画・予算案承認の件

第 2 号・第 3 号議案を一括上程。活発な質疑・提案・意見を受け、慎重審議ののち大多数（98.7%）の賛成を得て両議案とも賛成可決。総会終了後懇親会。



○役員会

H3.12.4 H4.1.13 H4.3.25 H4.4.16 計4回

○署・支部懇談会

H3.12.4 H4.2.3 H4.4.3 H4.7.20 計4回

○正副支部長会

H3.12.4 H4.1.6 H4.1.23 H4.3.23 H4.4.10
H4.4.27 H4.6.2 H4.6.24 H4.7.20 計9回

○相談役との連絡会議 H4.2.3 計1回

○支部長会 H4.4.6 計1回

○平成 4 年分支部連絡組織表の配布 H4.6.10

支部会費改正 !!

正会員 年額 18,000円

準会員 年額 24,000円

別記のとおり第12回定期支部総会において、支部規約第28条（支部会費）が改正され平成 4 年度分から当支部会費が表記のとおり改正されました。

会員先生方の深い御理解と厚い御支援を心から感謝いたします。

これからの支部運営におきまして、先生方から与えられた使命の重大さを十分に認識し、これが最大限の効果的な運営を計る所存でございます。

（執行部一同）

尚、本年度から郵便振替でのお振り込みを頂くこともできる様取り計いました。振込用紙は会計で用意しております。担当の菱木淳一まで御連絡下さい。

又、従来の銀行振り込みでも結構でございます。念のため。

三和銀行難波支店・

普通預金口座 3 6 1 7 5 6 9
近畿税理士会浪速支部 菱木淳一

○新年懇親会（出席者 69人）

H 4 . 1 . 13 ホテル 一栄

○夏季懇親会

H 4 . 7 . 31 鳥よし本店

○30年業務表彰者（第3条第1項第2号該当）

H 4 . 6 . 23 第28回本会定期総会にて表彰する。

岡本光正先生 梶田久夫先生 辻本宏夫先生

○大阪市税務相談（毎月 第4水曜日）

担当者 菱木淳一 稲垣良三 篠田 格

●浪速納税協会自主申告部会のための無料税務相談所開設検討会 H4.4.9

○浪速納税協会

（今のところ依頼なく人選しておりません）

●全記帳指導担当税理士連絡協議会 H4.3.31

場 所 かんぽセンター

指導担当の先生方にはご苦勞をおかけいたしますがよろしく願いいたします。

◎経理委員会

○H 3 . 12 . 中旬 支部財務予測の分析に入る。

○H 4 . 2 . 中旬 支部会費改正の原案作成。

○H 4 . 3 . 下旬 平成4年度支部予算案作成。

○H 4 . 4 . 下旬 平成3年度決算書作成。

○H 4 . 4 . 14 平成3年度決算について支部監事の監査を受ける。

◎厚生事業委員会

○慶 弔

H 4 . 4 . 17 一色久代さん（93歳）

金田 毅先生 御母堂

○病気お見舞

H 4 . 5 . 6 藤本昌一先生 中野榮丸先生

○旅 行

H 4 . 7 . 3～4 高山・数河温泉旅行

参加者 41人（旅行組17人 ゴルフ組24人）

◎税務援助対策委員会

●小企業者税務対策連絡協議会 H4.1.23

○所得税等地区納税相談所 H4.2.17～H4.3.13

支部・納税協会共催で地区相談所4会場を開設（納税協会・区民センター・新世界会館・永和信用）

実人員 64人 延べ日数 68日

来所者 378人



支部懇親旅行に参加して

広岡政明

去る7月3日4日恒例の支部懇親旅行が行われた。行程は飛騨高山方面への1泊2日のバス旅行である。大阪球場跡の広場に午前8時30分集合、同45分出発の予定であったが参加者の時間厳守のおかげで2・3分早く出発することができた。梅雨の合間であるため、お天気が心配されたが曇り空ながら雨の心配はなさそうで名神高速道路を一路目的地へ向かった。途中渋滞に巻き込まれることなく昼食場所である恵那峡の山菜園に到着した。

山菜園は山の中腹を切り拓いた広大な敷地の

○日本税務協会分平成4年度継続記帳指導（個人青色申告者）

会 議 H4.5.19 担当者協議会

担当者 下間 茂 白川勝己 田井一則

○商工会議所

担当者 中谷裕之

（浅岡 勤 転出につき交替）

なかに人工の滝を囲む様にしてガラス張りの食堂が造られており、そこで一同バーベキュー料理に舌鼓をうった。

昼食後国道41号線で高山市に向かい国史跡の高山陣屋を見学した。高山陣屋は約3,300坪の敷地に昔ながらの屋敷が修復保存されており、歴史の重みを感じさせるものがあった。観光組は明日もう一度高山市内に立ち寄る予定であったがゴルフ組はこの日だけのため、それぞれ高山の土産物を買っておられた。約1時間程度の後古川町数河の飛騨ハイランドホテルへとバスを走らせた。この頃から雲が切れ日が照り出し少し暑いぐらいの天気になって明日の晴天を確信できる様になった。

ハイランドホテルは標高1,000メートルの高原にあり夏はゴルフ場、冬はスキー場となるスポーツとレジャーのためのホテルで、バスから降りると高山市内とは比較にならないほどひんやりとしており、空気もすがすがしく非常に気持ち良かった。一同幹事の方に指示された部屋に分かれ夜6時からの宴会に臨んだ。宴会は例年に比べてやや盛り上がり欠けた感したが、それもスポーツを主にしたホテルでもあり、ゴルフのスタートが明朝6時とかで朝が早い事もあり致し方がなかったかも知れない。

翌朝、観光組も高山の朝市へ行くため6時起床7時出発とゴルフ組に劣らず朝早くホテルを出発し、昨日通った道路を逆戻りして高山市内へ向かった。高山市内では最初に高山屋台会館を訪れ重要有形民族文化財である大神輿と3基の屋台を見学した。係員の説明によると年2回行われる高山祭にこの屋台を曳き出し町に繰り出すとのことであった。目の前で見ると雄大華麗で、さすが小京都としての自負と飛騨の匠の技が集約された立派な建造物だと感じた。屋台会館を後にして高山名物で知られる朝市へ行った。朝市は川沿いに白いテントを張った露天が軒をつらねたもので、売られている主なものは野菜、果物、漬物などのいわゆる山の幸であった。丁度、土産物として買ってしまう様な手頃な値段が付けられており、ついつい余分に買ってしまう破目になった。然し他の方々も手に手にいくつかの白いビニール袋を持たれてバスに帰って来られたところを見ると、私一人でなく皆さんもご同様だった様である。

さて、いよいよ今回の観光の目玉である新穂高ロープウェイの乗場に向かって出発した。平湯、福地、新平湯、栃尾と演歌で知られた奥飛騨の各温泉町を通り抜けて目的地に向かった。途中いくつかの露天風呂が点在しており、スチュアーデスの「ほら、あそこに若い女の人が入ってる」と言う声に、一同その方向に目を向けたりしながら、曲がりくねった山道をバスにゆられてロープウェイの乗場に到着した。その頃には昨日の予測通り天気は日本晴で、これなら山頂で中部山岳の山々が見られるかもしれないと胸をときめかした。

ロープウェイは標高1,117メートルの新穂高温泉駅から第一ロープウェイで標高1,308メートルの鍋平高原駅まで行き、そこから少し離れたしらかば平駅で第二ロープウェイに乗り継いで標高2,156メートルの西穂高駅に着くと言う約15分の乗車時間であった。頂上に降り立つと気温が約10度でさすがに肌寒く感じられたが、大気が澄んで身も心も洗われる気がした。然し期待していたアルプスの山々は、頂上付近にガスがかかって見えず残念であったが、それでも2,000メートル余りの山頂からの景観はさすがにすばらしいものだった。ゴルフ組との合流時間の都合もあり約20分程度で心を残しながら中継点のしらかば平駅まで降り、そこにあるレストランパノラマで昼食をとり下山した。帰路は栃尾から神岡町を経てゴルフ組の待つハイランドホテルへと急いだ。

ゴルフ組は我々が着く1時間程前にプレイが終了していた模様で、待ちかねた様子でバスに乗ってこられた。約30分程度予定より遅れた様であったが一路大阪へとホテルを後にした。

車中では早速ゴルフの順位の発表や賞品の授与などが行われ、前年に引きつづき優勝された伊藤誠康会員らのスピーチ等、賑やかな一時を過ごした。

帰路は別段の事もなく午後9時前に全員元気に難波に到着し、現場で流れ解散となった。

今回の旅行に参加して、やはり長時間一緒に過ごせるバス旅行の方が、会員相互の懇親という本来の目的に合っていると感じた。

最後に今回の懇親旅行についてお世話下さった役員の方々にお礼を申し上げると共に、来年の旅行を楽しみに拙い文章の筆を置きます。

懇親旅行ゴルフ参戦記

伊藤誠康

7月4日、飛騨ハイランドカントリークラブに於いて、浪速支部懇親旅行ゴルフ大会が行われました。当日は梅雨の最中にもかかわらず絶好のゴルフ日和となり、参加24選手が優勝を目指して日頃の腕を競い合った結果、計らずも私が昨年に引き続きの優勝となりました。

6時54分にインコースからのスタートで始まりましたが、早朝のため出だしの数ホールは頭も身体も寝ぼけたままのプレーとなり、加えて朝露のためにパットしたボールがグリーン上を水しぶきをあげて転がるという有様で、かなり手こずられた先生もいらしたのではないかと思います。又、山岳コースだったためそこそこのアップダウンがありましたが、日頃斜面を登り、崖を下るプレーに慣れている私にとっては何等の抵抗も感じずにプレーが出来ました。今考えると、これは大きな戦力？ だった様に思います。

辻本友明先生による優勝者予想表で1番人気として頂いた関係上若干プレッシャーを感じ、前半9ホールでは52を叩き半ば諦めムードとなりましたが、小林剛三先生、今中先生そして斉岡先生の温かい励ましを受けて後半に臨みました。5ホール目辺り迄きてダブルボギー以上の無いことに気づき、極力スコアを気にしないように努めながらホールアウト。何と41という私には信じられないスコアを出していました。

良きパートナーに恵まれたこと、そして高ハンディーを付けてくれた原先生に心から感謝致します。



○浪一会

H 4. 4. 1 (16名) 堺 C. C.

1位高橋一夫 2位二間瀬啓蔵 3位原仁一
G93 (H14) G112 (H28) G93 (H9)

H 4. 5. 8 (15名) 砂川国際 C. C.

1位大野裕康 2位木村光男 3位原仁一
G101 (H18) G104 (H18) G96 (H9)

H 4. 6. 18 (15名) マスターズ G. C.

1位辻本友明 2位若林文雄 3位原仁一
G98 (H23) G96 (H20) G86 (H8)

H 4. 7. 4 (24名) 飛騨ハイランド C. C.

1位伊藤誠康 2位若林文雄 3位小林剛三
G93 (H28) G84 (H18) G82 (H14)

○浪青会

H 4. 5. 23 (16名 うちゲスト5名)

奈良 C. C. 大野コース

入賞者 辻本友明 岩橋一好

◎広報委員会

○名 札 (署玄関前)

新調 7枚 福島長人・林 圭次

中谷裕之・南場 隆・南 順治

中野孝治・濱口 勉

取外し7枚 池田清明・西本現人

税 理 士 と 関 与 先 企 業 の た め の

疾病重点型・L

総合事業保障プランⅡタイプ

- 日本人の平均寿命をこえる85歳までの長期保障、しかも保険料は期間中一定
- 重責にふさわしい最高2.6億円の大規模保障・退職金・功労金などの財源として利用
- 病気やケガでの入院・手術の治療にも安心
- 国際化時代に伴い、海外での年払もOK
- 詳しいお問い合わせは **DJIDO 大同生命** 大阪中央支社/大阪市中央区谷町1-5-4(天満大同生命館) TEL 06-942-0391



石 光仁・山口勝司・渡壁保次(準)

浅岡 勤・江口由美子

○一覧表 管内税理士一覧表 H 4. 6. 1 現在

正会員 118名 準会員 14名

○支部報 H 3. 12. 1 第 2 号 編集会議

H 4. 1. 10 第 2 号 発行

H 4. 7. 20 第 3 号 編集会議

◎研修委員会

H 4. 4. 16 第 1 回 於 納税協会 38名

講 師 丸石芳治個人統括官

植田吉則法人 1 総括上席

テーマ 「地価税について」

換地処分にかかる土地精算金の
会計処理と申告の仕方

H 4. 8. 6 第 2 回 於 かんぽセンター

講 師 梶田喜代隆弁護士

テーマ 「新借地借家法」の解説

—— 支部行事予定 ——

H 4. 9. 3 「本会主催ゴルフ大会」出場者予
選会 於 ライオンズ C. CH 4. 9. 5 支部懇親麻雀大会
於 ニュー南海H 4. 10. 上旬 「本会ボーリング大会」出場者
予選会H 4. 11. 中旬 「税を知る週間」ターミナル税
務相談

H 4. 11. 上旬 第 3 回研修会

H 4. 12. 上旬 署支部懇談会

H 5. 1. 上旬 懇親囲碁大会

既にご案内のとおり本会の行事予定で支
部に関連ある行事は次のとおりです(H 4.
7. 末現在)

近税会主催支部対抗競技大会

H 4. 10. 9 囲碁

. 10. 29 ゴルフ

. 11. 6 麻雀

. 11. 19 ボーリング

税理士制度 50 周年記念全国縦断キャラバ
ン「タックス大使号」イベント行事

H 4. 10. 1 大阪駅前付近

本会主催地域対抗ボーリング大会 浪速支部代表選手選抜会 参加へのご案内

本年度から本会主催にて初めてボーリング
大会が企画され 11 月 19 日に予定されています。

当支部も選手選抜のため予選会を 10 月上旬
に開催したいと存じます。

規模・予算等運営の都合上、参加のご意志
をとりまとめたく、8 月 31 日までにご希望の

先生は下記までお申し出下さい。

(厚生部)

連絡先 太田支部長 TEL 649-2225

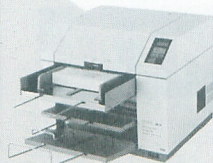
FAX 649-2224

又は 篠田副支部長 TEL 641-6402

FAX 643-3780

OCRコンピュータ会計の決定版!

豊富なOCR導入事例により、ケースバイケースにおけるOCRコンピュータ会計の具体的な運用ノウハウを提案いたします。



手書き会計伝票 Auto Reader-4
自動読取り装置 オートリーダーシリーズ

人手不足…イッキに解消!

■入力作業を完全に自動化。

■事務量増大、繁忙期に抜群の威力を発揮します。

■各自の伝票作成がそのまま入力機複数台の同時入力と
同じ効果です。■入力作業の改善により、深刻な人手不足を補い職員の
定着性が向上、所内人事管理にゆとりが生まれます。

納入実績
No. 1
OCR(オートリーダー)
採用事務所
5,000軒突破!



IIG-SI

日本アイ・シー・エス株式会社

■大阪本社 / 〒543 大阪市天王寺区上本町6-3-31 うえほんまちハイハイタウン11F ☎06(773)3881(代表)

■ICS上本町ショールーム / ☎06(773)3881 ■ICS梅田ショールーム / ☎06(346)0838 ■大阪本社スクール課 / ☎06(773)0388

資料請求
近税なにわ

新入会員ご紹介

福 島 長 人



事務所 大阪市浪速区元町1丁目2-2 浪芳ビル3B
TEL 06-632-9855
FAX 06-632-9853
昭和5年8月31日生
趣味 園芸・麻雀・ゴルフ

平成4年1月に浪速支部に転入して来ましたが福島でございます。当初、河内長野の自宅で税理士登録をして1年余り経過いたしました、このたび縁がありまして当浪速支部に入会させて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成2年7月に永年勤務した税界生活に別れをつけ第二の人生をスタートしたわけですが、同じ仕事でも立場の違い、入口と出口での思考、姿勢の違いなど180度の転換による戸惑いと順応性の遅さを今もって痛感している次第です。

浪速税務署には昭和59年7月から1年間勤務いたしました。短い期間ではございましたが、当時、研修、調査指導などで何かとお世話になった先生方も多く、ここにあらためて御礼申し上げます。

今年は、開業3年目となりますが、まだまだ未経験の分野も多く、なお自己研鑽に努めたいと思っております。先輩諸先生方には今後とも何かとお世話を掛けすると存じますが、よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

林 圭 次



事務所 大阪市浪速区幸町1丁目2-9-802
TEL 06-561-6230
FAX 06-561-6523
昭和22年5月31日生
趣味 今まではゴロ寝 これからは 囲碁?

私は、去年12月に出版社を退職し、本年1月から浪速支部に仲間入りさせて頂きました、林圭次です。

開業して早くも6カ月が過ぎましたが、当初の思惑とは裏腹に関与先は増えないし、嫁さんの機嫌は悪いし、まさに大学を卒業してから最大の冬の時代です。

そもそも税理士を目指したのは、豊かな生活を求めるためであり、それをささげに何回も不合格の憂き目にあいながら、青春を犠牲にしてやっとつかんだ幸せのはずが……。

趣味がゴロ寝では怠け者と思われるも仕方がないので、6月から浪速区民センターへ囲碁に強くなりたいという純真な気持ちと、あわよくばお客さんになる人がいればいいなぁという邪心な気持ちで入門囲碁教室へ毎週日曜日通っています。

一日でも早く一人前の税理士になるよう頑張っていますので、先輩諸先生方のご教示、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

中 谷 裕 之



事務所 大阪市浪速区日本橋4丁目1-14
TEL 06-644-5520
FAX 06-644-5586
昭和31年10月23日生
趣味 食べ歩き、麻雀、ゴルフ少々

このたび浪速支部に入会させて頂きました中谷裕之でございます。昨春、東大阪支部にて登録、入会いたしました、このたび独立開業し、当支部でお世話になることになりました。大阪は船場と並ぶ商人の地「日本橋」、そうあまくないなぁ、と感じる傍ら人様に元気を売る商売に就けたことに誇りを持ち、地域社会に少なからずでも貢献できる人間になることを目標に頑張りたいと考えています。

趣味は、食べ歩き、麻雀、始めたばかりのゴルフと不作法者ではございますが、いつでもお誘い頂きましたらと思っております。

「失敗することを恐れず、真剣でないことを恐れる」を肝に銘じ、浪速支部の一員としてお役に立てることを思い、今後共宜しくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

南 場 隆



事務所 大阪市浪速区桜川 2 丁目 3 番 28 号 市松ビル
T E L 06-562-0390
06-561-2219
F A X 06-561-8400
昭和 32 年 11 月 25 日生
趣味 ゴルフ 将棋 (口だけ名人) 美術鑑賞

本年 2 月、登録させていただきました南場でございます。私の父は昭和 56 年に急死するまで当支部において登録しておりましたので、いわゆる私は二世税理士という事なのですが、父が亡くなるまで私自身この業界にお世話になるとは夢にも思いませんでした。隣の芝生はよく見えるのたとえの様に、父の仕事に携わるのにあまり興味がなく全然違う方面に進もうと考えておりました。しかし学生時代途中で思いがけなく身体を壊しドロップアウトしたため、若いながら二度目の人生のつもりで今日に至る事となりました。さてこれからどのようにやっていくかは深く考えておりませんが、税理士業は時代の変化に機敏で、かつ正しい判断力が不可欠なような気がします。まあとりあえずは皆様のお荷物にならぬよう頑張る所存であります。

南 順 治



事務所 大阪市浪速区敷津東 2 丁目 5-17 敷津センタービル 4 階
T E L 06-631-3006
F A X 06-631-3006
昭和 34 年 1 月 13 日生
趣味 ドライブ、麻雀、映画鑑賞

このたび、堺支部より浪速支部へ転入いたしました南でございます。私は、平成 2 年 3 月 22 日に税理士登録を行い、その後 2 年間堺支部の川村敏之先生の事務所で、勤務税理士としてお世話になっておりました。

そして、今年 4 月より、浪速区に事務所を借りまして開業いたしました。事務所と言いましても 5 坪ほどの小さな部屋で職員もいない状態です。開業したばかりですので事務所の運営などわからないことばかりですので諸先生方との交流を図り、御教示いただければ幸いに思います。

まだまだ未熟な若輩者ですが、税理士として浪速支部の諸先生方にご迷惑をおかけしないよう

う業務に励む覚悟でございます。今後とも、先輩諸先生方のご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

中 野 孝 治



事務所 大阪市浪速区恵美須西 2-8-19 中野榮丸税理士事務所内
T E L 06-643-5703
F A X 06-643-5704
昭和 27 年 10 月 13 日生
趣味 ゴルフ テニス ガールウォッチング

3 年間のサラリーマン (営業) 生活を経て、税務の世界に飛び込み、そして 5 年後、父 (榮丸) と大阪のシンボルでもある通天閣のもと恵美須町で事務所を開業しました。それから 10 年経ち、平成 4 年遂に、私も背広の左胸に税理士バッジをつけることが出来るようになり、2 枚看板としての再出発と相成りました。

税理士 6 万人時代を迎え、この業界も競争原理がますます強まる中、我が事務所も必ずしも順風満帆というわけには行かないと思いますので、今後、より一層気を引き締めて行こうと思っています。

最後に、税理士の業務は鉛筆 1 本で仕事が出ます。そしてそれは、単なる顧問先の計算課であれというわけではありません。事務屋で終わるのではなく戦略者になれということです。その意味で、顧問先のあらゆるニーズに即応出来る体制を可能にし、そこに職業的充足感を追求して行きたいと思っています。

編 集 後 記

ある種の弁護士は事件を仕立てる

大方の税理士は事件を敬遠する。

ある種の弁護士は全ての掌握に向かい

大方の税理士は己の分野を守る。

ある種の弁護士は時をかまわず

大方の税理士は時に追われる。

ある種の弁護士は客の懐を測り

大方の税理士は自らの汗を量る。

悲しきことなり。でも私は税理士だ。

(Barcelona '92 の事務所事績簿から)

春田 記